

PRESS RELEASE



1.ART OSAKA 2026 メインビジュアル

ART OSAKA 2026 初の「うめきた」開催。

多様化する現代アートに呼応し、Galleriesを4タイプへ再編。Expandedは身体で体験するインスタレーションへ拡張。

関西から“現代アートの現在地”を再定義する二拠点フェアへ。

現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2026」は、2026年5月29日(金)～31日(日)にコングレスクエア グラングリーン大阪(うめきた)で開催するGalleriesセクション(のべ52ギャラリー参加)と、5月28日(木)～6月1日(月)にクリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地 / 北加賀屋)で開催するExpandedセクション(13組参加)の二拠点で実施します。2002年の創設以来、関西を拠点に活動を続けてきたART OSAKA。2026年、Galleriesセクションが初めて“うめきた”へ移ることは、変化する都市空間の中で、アートがその場所でどう機能しうるかを問い直す試みでもあります。新しい都市環境を迎えるにあたり、提示方法やフェアの構造も見直し、現代のアートシーンに沿うかたちへとアップデートしました。

Galleriesセクションは、「Galleries」「Focus」「Wall」「Screening」の4タイプ構成へ再編。多様な表現が集まるフェアとして、作品の魅力がより自然に伝わるよう、提示のあり方を改めて整えたものです。国内外のべ52ギャラリーが参加し、巨匠から新進作家までが一堂に会す会場からは、世代や立場の異なる表現が並び、同時代のアートシーンの輪郭が浮かび上がります。

同時開催の企画展「もうひとつの90年代 時代を超える関西の作家たち」では、関西ゆかりの作家が1990年代に生み出した重要作品を紹介します。転換期といわれた時代をあらためて見つめ直し、関西から日本の現代美術史を再照射します。

大型作品やインスタレーションを展開するExpandedセクションには13組のアーティストが参加。若手から大御所まで世代を横断するラインナップにより、本フェアならではのサイトスペシフィックな作品が登場します。

初のうめきた開催によりアクセスが高まり、二拠点での構成は、より多くの人々が現代アートと出会う場となります。そしてExpandedセクションでの体験は、作品と空間が響き合う瞬間を身体で受け取り、観客自身が“いまの時代にアートが何を語りうるか”を感じ取るきっかけとなるはずです。

大阪からアート文化の継続と発展を目指すART OSAKA 2026。ぜひ会場でご体感ください。

お問合せ先：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

【取材・掲載のお問い合わせ】

担当：田原

press02@artosaka.jp | 090-4278-2924

【アートフェアに関するお問い合わせ】

ART OSAKA事務局 担当：川西／室谷

info@artosaka.jp | 06-6777-8303

Galleries セクション ―― 52 の視点が交差する、都市型アートフェアの現在



2. コンgressクエアが位置するグラングリーン大阪

Galleriesセクションは、今年から「Galleries」「Focus」「Wall」「Screening」の4タイプで再構成されます。これは単なる展示区分の変更ではなく、近年ますます多様化する現代アートのあり方に応答し、作品の魅力がより適切な環境で立ち上がるよう、フェアの“解像度”そのものを上げるための刷新です。従来のブース形式を中心とした構成から、ギャラリーのキュレーション力や作家の世界観をより鮮明に提示できる形へと進化しました。

3. 勝木有香《Leaflit》シルクスクリーン、パネル
2025 Courtesy of CANDYBAR Gallery4. 上田佳奈《particle_0008》アクリルにUV印刷
2025 Courtesy of Gallery Nomart5. 金光男《Introduced-Species and my son's hands》
パラフィンワックス、麻布、シルクスクリーンプリント、
木製パネル 2025 Courtesy of LEESAYA6. 前谷康太郎《Flatland - DAY 20220723》
インクジェットプリント、アクリルマウント
2024 Courtesy of Yu Harada

4タイプで構成される今年のGalleriesセクションには、国内外のべ52ギャラリーが参加します。

アジア圏からはフィリピンのGALERIE STEPHANIE、韓国のGallery ShillaやWoong Galleryが加わり、地域を越えた視点が交差します。

東京の西村画廊、MAKI Gallery、√K Contemporaryなど、都市を牽引するギャラリーに加え、関西からはCANDYBAR GalleryやMarco Galleryなど新進気鋭のギャラリーから、アートコートギャラリー、TEZUKAYAMA GALLERY、イムラアートギャラリー、MORIYU GALLERYといった長年地域の現代美術を支えてきたギャラリーまでが集結します。関西の作家・ギャラリーと、東京をはじめとした他地域の視点が同じフロアで並ぶことで、“いまこの瞬間”の日本のアートシーンが多層的に浮かび上がります。

「Focus」では、ギャラリーノマルが、30年以上にわたり関西の現代美術を支えてきた実験的な姿勢を背景に、今年度の「咲くやこの花賞」を受賞した上田佳奈 (b.1988) の展示を構成します。初出展となるLEESAYAは、昨年大阪中之島美術館で個展を行った金光男 (b.1987) と、田中秀介 (b.1986) を紹介、作家の視点に焦点を当てた展示を行います。

「Wall」では、伝統を尊重しながらも現代的な解釈による革新的な作品を紹介してきたYu Haradaが、写真や映像を用いて「光」の新たな表現を探求する前谷康太郎 (b.1984) の作品を展示いたします。

「Screening」では、gallerychosunがBo Na Park (b.1977) の映像作品を紹介するなど、メディアの広がりをつめた展示も行われます。

若手から中堅、巨匠まで、多様なスタンスの作家とギャラリーが同じフロアに立ち並ぶことで、現代美術がどのように変化し、どのように広がろうとしているのかを、立体的に感じ取ることができる構成となっています。

7. Bo Na Park《Phwee Phwee Fweet Fweet》4K video with sound 22'52"
2024 Courtesy of gallerychosun

Expanded セクション —— 産業遺構を生かした、13組の大規模インスタレーション



8.クリエイティブセンター大阪

大型作品やインスタレーションを展開する Expanded セクションには、13組のアーティストが参加します。造船所跡地という特異な空間を生かした展示が広がります。

1階ブラックチェンバーでは、これまで大御所作家の展示が中心でしたが、今回は中堅作家によるユニット「アンチテイル」(国谷隆志、はしもとともこ/+1art)が登場。会場中央にネオン管で矩形空間を構築し、その内部に立体作品を配置するインスタレーション《視線と夢》を発表します。鑑賞者は矩形の周囲を巡りながら作品と向き合う構成です。

最年少は2001年生まれの三苦ケイト(hakari contemporary)。映像作品《odoriko series》を展示します。また、初出展となる村本剛毅(MUG/b.1999)は、閉じた眼に臉を通して映像を投影する作品を発表。来場者が1人ずつ体験する装置型の展示を行います。また、刺繍やガラス、茅草など多様な素材を用いたインスタレーションが展開され、メディアムの幅も広がります。台湾のLai Ko-Wei(Der-Horng Art Gallery)によるセラミック作品など、国際的な動向も交差します。

4階では、今回Expandedセクションで最もキャリアの長い作家である西本剛己(b.1961/TEZUKAYAMA GALLERY)が、全長30mに及ぶサイトスペシフィックな大規模インスタレーション《ノア:復活の製図室》を展開予定です。

2001年生まれから1961年生まれまで。世代もメディアムも異なる13の実践が、空間の読み取り方を変え、アートフェアの枠組みを内側から押し広げます。

その他、大阪心齋橋のアメリカ村を拠点にするFUKUGAN GALLERYと共催で、作品展示やライブパフォーマンスなど関西アンダーグラウンドのカルチャーの変遷を紹介する特別企画も予定されています。

このようにExpandedセクションでは、観客に「見る」ことを超えた「体験」を提供します。そして、これら作品を建築空間や公共空間への展開可能な「販売作品」として提示する試みは、従来のマーケットでは扱いつづかった領域に新しい道筋を拓き、アートが届く場所の可能性を更新していきます。

9.国谷隆志《Spaceless Space : Pegasus》
息、ガラス、ネオン、変圧器、コード
2025 Courtesy of +1art10.はしもとともこ《Untitled》
毛糸、綿糸、生地、ボタン、真鍮、鉄、ほか
2023 Courtesy of +1art11.三苦ケイト《odoriko series》
シングルチャンネル映像(ループ、サイレント)01'49"
2025 Courtesy of hakari contemporary

12.村本剛毅《Imagraph》(シリーズ) ミクストメディア 2020- Courtesy of MUG

13.西本剛己《ディスタンス 21497》ビニルシート、帆布、鉄、旅客機の模型、モーター、ほか
2020 Courtesy of TEZUKAYAMA GALLERY
撮影:三本松淳

開催概要

ART OSAKA 2026 Galleriesセクション *ブース形式のセクション

会場: コンGRESSクエア グラングリーン大阪

住所: 大阪市北区大深町5-54 グラングリーン大阪 南館4階

会期: 2026年5月29日(金)~5月31日(日)

VIPプレビュー 29日(金) 13:00-15:00 ※VIP招待の方のみ

プレビュー 29日(金) 15:00-19:00 ※VIP、招待者、プレス関係者のみ

一般公開 30日(土) 11:00-19:00 / 31日(日) 11:00-17:00

出展ギャラリー: *初出展

Galleries(28軒) ※幅広く作家を紹介するスタンダードブース

AaP/roidworksgallery(東京)、AKIINOUE*(東京)、アートコートギャラリー(大阪/京都)、アートゾーン神楽岡(京都)、AWASE gallery(東京)、biscuit gallery(東京)、CANDYBAR Gallery(京都)、FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート(東京)、GALERIE STEPHANIE*(フィリピン)、gallery蓮依(神奈川)、GALLERY麟(東京)、ギャラリー石榴(長野/東京)、Gallery Shilla(韓国)、GALLERY TOMO(京都)、イムラアートギャラリー(京都)、川田画廊(兵庫)、KOUICHI FINE ARTS(大阪)、MAKI Gallery(東京)、Marco Gallery(大阪)、メグミオギタギャラリー(東京)、MORI YU GALLERY(京都)、西村画廊(東京)、s+arts(東京)、SOM GALLERY(東京)、√K Contemporary(東京)、TEZUKAYAMA GALLERY(大阪)、Woong Gallery*(韓国)、Yoshiaki Inoue Gallery(大阪)

Focus(15軒) ※個展または二人展形式のブース

AISHO(東京/香港)、ピーク585ギャラリー*(大阪)、カペイシャス(大阪)、eitoeiko(東京)、EUKARYOTE(東京)、ギャラリーかわまつ(東京)、ギャラリーMOS(三重)、ギャラリーノマル(大阪)、gallery Unfold(京都)、KOKI ARTS(東京)、LEESAYA*(東京)、MEM(東京)、Nii Fine Arts(大阪)、Otherwise Gallery(東京)、the three konohana(大阪)

Wall(6軒) ※壁面に特化したプレゼンテーション

gekilin.(大阪)、MtK Contemporary Art*(京都)、サロンモザイク(大阪)、橘画廊(兵庫)、TomuraLee*(東京/ベトナム)、Yu Harada(東京)

Screening(3軒) ※映像作品をメインとしたブース

gallerychosun(韓国): Bo Na Park、ギャラリーほそかわ+TEZUKAYAMA GALLERY(大阪): 大崎のぶゆき、MORI YU GALLERY(京都): 西山修平

■企画展: もうひとつの90年代 時代を超える関西の作家たち

会場: コンGRESSクエア グラングリーン大阪 ロビー 入場料: 無料

関西にゆかりのある1950~60年代生まれの作家が1990年代という転換期に生み出した重要作品に焦点を当てます。「失われた30年」とも称される不穏な時代にあっても、質の高い表現を粘り強く探究し続けた作家たちを紹介し、バブル期以降の日本美術史を関西の視点から再照射することを試みます。

キュレトリアルアドバイザー: 加藤義夫 (APCA理事/加藤義夫芸術計画室)

出展作家: 赤崎みま、児玉靖枝、松井紫朗、中川佳宣、押江千衣子、館勝生、田嶋悦子

協力: アートコートギャラリー、ギャラリーノマル、イムラアートギャラリー、西村画廊、サードギャラリーAya、Yoshimi Arts

●関連トーク:

日程: 5月30日(土) 13:00-14:00 登壇者: 林洋子(兵庫県立美術館館長)、加藤義夫(加藤義夫芸術計画室)

開催概要

ART OSAKA 2026 Expandedセクション *大型作品・インスタレーションに特化したセクション

会場:クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

[事務所棟、赤鉄骨、青鉄骨、スタジオパルティッタ]

住所:大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

会期:2026年5月28日(木)~6月1日(月)

一般公開:28日(木) 13:00-19:00 / 29日(金)-31日(日) 11:00-19:00 / 6月1日(月) 11:00-16:00

出展作家:

アンチテイルー 国谷隆志、はしもとともこ(+1art、大阪) / 深川瑞恵(GALLERY IDF、愛知) / 井出日出志(MORI YU GALLERY、京都) / 伊勢崎寛太郎(GALLERY KOGURE、東京) / 小泉遼(SH GALLERY、東京) / Lai Ko-Wei(Der-Horng Art Gallery、台湾) / 三苦ケイト(hakari contemporary、京都) / 宮田彩加(YOD Gallery、大阪/京都/東京) / 村本剛毅(MUG、東京) / 西本剛己(TEZUKAYAMA GALLERY、大阪) / 笑うが虹へー 玉住聖、井川剛志(gekilin.、大阪) / 相良育弥(Wa.gallery、大阪) / 鈴木淳夫(AIN SOPH DISPATCH、愛知)

■共催企画:「ムラタカイワイーアメ村今昔ー」

FUKUGAN GALLERY (大阪)との共催により、関西ストリートカルチャーの聖地・アメリカ村(大阪・心齋橋)の「ムラタ酒店」を軸に変遷と現在地を照射する特別企画を開催します。

主催:FUKUGAN GALLERY

共催:ART OSAKA

会場:クリエイティブセンター大阪 スタジオパルティッタ

入場料:無料

■展示作家

池島勘治郎、宇加治志帆、大野雅彦、CASPER、栗田咲子、佐伯慎亮、田中秀和、冬木遼太郎、水内義人 ほか

■ダンス、パフォーマンス、ワークショップなど

ONI、ボニ♡ボニー、MeNeM ほか

■トーク

31日(日) 古谷高治×サハラクミコ ほか

■有料イベント(18時から) *チケット発売開始予定:4月16日(木)

30日(土) シモーヌ深雪、Hiroko、快眠亭、DESTOROMO

31日(日) オシリペンペンズ、KASHU

■チケット情報

チケット:<https://www.e-tix.jp/artosaka2026/> 【2026年3月4日(水)10:00販売開始】

ART OSAKA チケット 3,000円 (オンライン決済) 当日現地払い:3,500円

早割チケット 2,500円 / ペアチケット 4,500円(販売期間:3月4日-4月15日)

各セクション券もご用意いたします。

*2セクション間では金〜日、無料シャトルバスが運行予定です

開催概要

■ 主催・協賛

APCA
JAPAN

主催:一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

特別協賛:千島土地株式会社

協力:株式会社コングレ

公式ウェブサイト:<https://www.artosakajp/2026/jp/>公式Instagram:[instagram.com/artosakajp/](https://www.instagram.com/artosakajp/)

周知・掲載のお願い

本フェアの趣旨・取り組みを広くお伝えいただくため、
周知およびご掲載にご協力いただけますと幸いです。

■ 広報用素材について

広報用画像およびフェアロゴは、以下のDropboxフォルダにまとめております。
掲載の際にご活用ください。

【Dropbox】

<https://x.gd/GArFd>

ご使用の際は、キャプションの明記にご協力をお願いいたします。
また、ご掲載が決まりましたら、掲載紙またはPDFデータを1部事務局までお送りいただくか、
掲載先URLをご共有いただけますと幸いです。

なお、最新情報は随時公式ウェブサイトおよびSNSにて更新しております。
あわせてご確認ください。

【取材・掲載のお問い合わせ】

担当:田原
press02@artosaka.jp
090-4278-2924

【アートフェアに関するお問い合わせ】

ART OSAKA事務局 担当:川西/室谷
info@artosaka.jp
06-6777-8303

ART OSAKA 2026 プレスツアー開催のご案内



現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2026」では、一般公開に先立ち、
5月28日(木)・29日(金)の2日間にわたりプレスツアーを開催いたします。

本年度は“二拠点開催”となるため、Expanded セクション(北加賀屋)および Galleries セクション(うめきた)を
それぞれご案内いたします。ぜひご参加賜れましたら幸いです。

開催日程 | スケジュール

■ 1日目: 5月28日(木)

Expanded セクション プレスツアー

12:00-14:00

北加賀屋エリア内ツアー

～17:00(予定・調整中)

会場: クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

住所: 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

アクセス: Osaka Metro 四つ橋線「北加賀屋」駅4番出口より
徒歩10分

■ 2日目: 5月29日(金)

Galleries セクション プレスツアー

11:00-12:30 (参考: VIPプレビュー 13:00-)

会場: コンgressクエア グラングリーン大阪

住所: 大阪市北区大深町5-54 グラングリーン大阪 南館4階

※ツアー事前申込のないプレスのご入場は、15:00～とさせていただきます。

※時間は調整中につき、変更となる可能性があります。

プレスツアー参加について | お申し込み方法

プレスツアーへのご参加は、以下のフォームより
お申し込みください。

申込フォーム:

<https://forms.gle/EAKATjQFF11H7ZteA>

※プレス・報道関係者の皆様は、内覧日以外でも無料でご入場いただけます。
入場の際は、各会場のプレス受付にて、お名刺のご提示と取材票へのご記入
をお願いいたします。

お問い合わせ先

一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

【取材・掲載のお問い合わせ】

担当: 田原

mail: press02@artosaka.jp

tel: 090-4278-2924

【アートフェアに関するお問い合わせ】

ART OSAKA事務局

担当: 川西/室谷

mail: info@artosaka.jp

tel: 06-6777-8303

ART OSAKA 2026

現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2026」は、2026年5月29日(金)～31日(日)にコングレスクエア グラングリーン大阪(うめきた)で開催するGalleriesセクション(のべ52ギャラリー参加)と、5月28日(木)～6月1日(月)にクリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地 / 北加賀屋)で開催するExpandedセクション(13組参加)の二拠点で実施します。

開催概要

■ART OSAKA 2026 Galleriesセクション

* ブース形式のセクション

会場:コングレスクエア グラングリーン大阪

住所:大阪市北区大深町5-54 グラングリーン大阪 南館4階

会期:2026年5月29日(金)～5月31日(日)

VIPプレビュー 29日(金) 13:00-15:00 ※VIP招待の方のみ

プレビュー 29日(金) 15:00-19:00 ※VIP、招待者、プレス関係者のみ

一般公開 30日(土) 11:00-19:00 / 31日(日) 11:00-17:00

■ART OSAKA 2026 Expandedセクション

* 大型作品・インスタレーションに特化したセクション

会場:クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

[事務所棟、赤鉄骨、青鉄骨、スタジオパルティッタ]

住所:大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

会期:2026年5月28日(木)～6月1日(月)

一般公開

28日(木) 13:00-19:00 / 29日(金)～31日(日) 11:00-19:00 / 6月1日(月) 11:00-16:00

主催:一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

特別協賛:千島土地株式会社

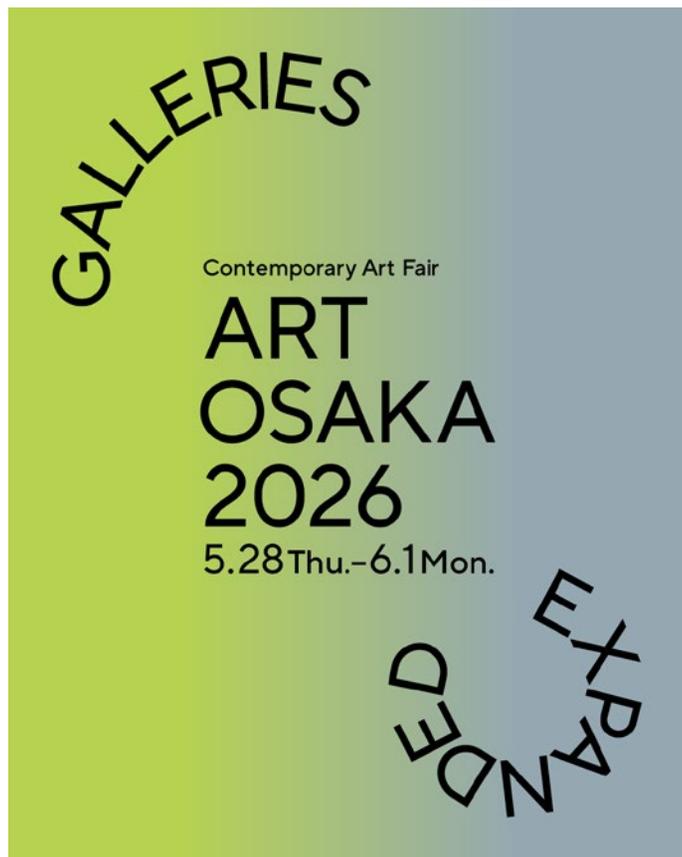
協力:株式会社コングレ

公式ウェブサイト:<https://www.artosaka.jp/2026/jp/>

一般公開の詳細や最新のプレスリリースは、公式ウェブサイトにて随時更新しております。

公式ウェブサイト:

<https://www.artosaka.jp/2026/jp/>



大阪市内では OSAKA ART & DESIGN 2026 (OAD) も同時期開催

Osaka Art & Design 2026(5月27日(水)～6月23日(火))が大阪市内各地で開始いたします。

OAD 2026のプレスツアーも 5月27日(水)、28日(木)に実施予定です。都市全体で広がるアートの動きを、ご取材いただけますと幸いです。